

## 環境に配慮したシカ侵入防止柵の開発

### 【研究概要】

都内において、植栽木をシカの被害から守るために設置されたシカ侵入防止柵の多くは、自然に還らないプラスチックなどの素材が使われており、撤去する際、地下部に埋まった支柱やネットの除去が極めて困難なため、林地に残ってしまう問題がある。この解決に向けて、自然に還る環境に配慮した素材のシカ柵を開発することを目的に試験を実施した。その中で、今年度は下記の成果が得られた。

- (1) 2023年に幅910mmの亀甲金網を高さ600mm、地面との接地部300mmで設置したが、33日後、亀甲金網がイノシシにめくり上げられ、その内側の化学繊維製のネットも噛み切られてシカ柵の中に侵入された。この対策として実施した線径1.2mm、幅1400mmの亜鉛メッキの亀甲金網の追加設置は、30°以上の急傾斜地においてタヌキなどに噛み切られた化学繊維製シカ柵への対策として有効である。
- (2) さらに、この線径1.2mm、幅1400mmの亜鉛メッキの亀甲金網を用いて、30°以上の急傾斜地に適した軽量の「急斜面版シカ柵ライト」を開発した。